

**【施策評価調査】**

|      |  |             |       |     |  |
|------|--|-------------|-------|-----|--|
| 施策名  | 4-2-1  | 産業ネットワークの構築 |       | 109 | 町内事業所、経済団体、農業関係者、商工業関係者、行政等の情報の共有化や、有機的繋がり推進することにより、関係者の融和と協調を強め、もって、雇用機会の増大や町内産業全体の活性化を図る。  |
|      | ※高根沢町地域経営計画2006 該当ページ  |             |       |     |  |
| 担当部課 | 建設産業部 産業課  | 担当          | 商工業   |     | 商店や経済関係代表者、商工会員等で組織する経済活性化協議会を立ち上げ、町内の雇用状況等を含む情報の共有化や町内に立地する企業の交流活動を活性化させて、企業間のネットワークを強化し、新たなビジネス機会の創出を促します。(※「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋) |
|      |  | リーダー        | 石川 正佳 |     |  |
| 環境変化 | ・平成20年末よりの世界的な経済悪化により、国内において失業者の増大等その影響が顕在化しているため、国において緊急雇用や雇用創出対策等をとっている。<br>・高根沢町経済懇話会は、会員同士も顔見知りになり、農業者団体との共同による学習やイベントを通じ、町を活性化させる気運が高まってきている。 |             |       |     |  |

**■指標**

| 施策の評価指標                        | 基準値    | 年度 | 18年度 | 19年度 | 20年度     | 21年度  | 22年度 |
|--------------------------------|--------|----|------|------|----------|-------|------|
| 指標①: 経済活性化協議会の創設               | 平成16年度 | 計画 |      | 設立   | 40社      | 50社   | 45社  |
|                                |        | 実績 | →    | ↑    | 設立 → 40社 | ↓ 39社 |      |
| 指標②:                           |        | 計画 |      |      |          |       |      |
|                                |        | 実績 |      |      |          |       |      |
| 指標③:                           |        | 計画 |      |      |          |       |      |
|                                |        | 実績 |      |      |          |       |      |
| ◆◇ 指標に関する特記事項 ◇◆               |        |    |      |      |          |       |      |
| 会員数については、運営する上で、実質的に妥当な数に見直した。 |        |    |      |      |          |       |      |

| 施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移 | 年度 | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 |
|-----------------------|----|------|------|------|------|------|
|                       | 当初 | 0    | 0    | 0    | 0    |      |
|                       | 決算 | 0    | 0    | 0    | 0    |      |

**■事務事業事後評価 21年度の検証**

| 施策傘下事務事業  | 事業費 | 活動量(アウトプット) | 施策への貢献度 | 施策達成にどう貢献しましたか? (アウトカム)   |              |    |              |
|-----------|-----|-------------|---------|---|--------------|----|--------------|
| ①経済活性化推進費 | 当初  | 0           | A       | 会員間の連携によって、町を活性化するイベント(たんたん祭りのスタッフとしての協力や、企業訪問などを通じた先端技術(燃料電池車)の視察等によって、会員の資質の向上につながった。会員の視察研修によって、民間による地域間交流(陸前高田市)の切り口ができた。 |              |    |              |
|           | 決算  | 0           |         | 39社 / 50社   | 今後の方向性(自己評価) | 継続 | 今後の方向性(総合評価) |
| ②         | 当初  |             |         |   |              |    |              |
|           | 決算  |             |         | /   | 今後の方向性(自己評価) |    | 今後の方向性(総合評価) |
| ③         | 当初  |             |         |   |              |    |              |
|           | 決算  |             |         | /   | 今後の方向性(自己評価) |    | 今後の方向性(総合評価) |
| ④         | 当初  |             |         |   |              |    |              |
|           | 決算  |             |         | /   | 今後の方向性(自己評価) |    | 今後の方向性(総合評価) |
| ⑤         | 当初  |             |         |   |              |    |              |
|           | 決算  |             |         | /   | 今後の方向性(自己評価) |    | 今後の方向性(総合評価) |

**■施策事後評価 21年度の検証**

|      | 施策達成状況に関する評価  | 課題と今後の方向性  |
|------|---|--|
| 自己評価 | 農商工連携による、町経済の底上げまでには至っていないが、その前段として、町内の企業や事業者間の交流の機会をつくったことにより、ビジネスチャンスのテーブルとなって、会員間で新たな取引のできているところもある。懇話会事業の成果としては上々である。                             | 経済懇話会は、ネットワークの力により豊かな町を築くことを目的とし、まちづくりの一端を担う考えで事業を組み立てているが、フットワークが鈍い。自主性と機動性をもった組織への改革が更に必要である。また、会員には農業者が少なく、企業との結びつきが弱いので、会員の意識改革や流通関係の事業者の入会なども進めていく。 |
| 総合評価 | 継続的に施策展開されていると評価する。ただし、今後の施策展開の中で、現下の社会情勢を踏まえつつ、今まで取組んできたことで得られたことや課題を分析し、農商工連携による繋がりのある事業をどう自主的に展開していくのか、町のすべきことを見極めながら、施どこに力点を置くのか、策展開についてよく検討すること。 |  |